

した。話をしてくださった方は、七十三年前の八月六日、海の上で原爆投下を目撃しました。翌日、僕らと同じ年齢で、死体が転がる街を歩いたと聞いたときは、驚き、自分だつたらと想像するのも恐ろしくなりました。地獄のような広島を歩いた人達は、どんな気持ちで慣れ親しんだ街を歩いたのか。きっと、怒りと悲しみにあふれていたのだと考えます。体験者の話を聞いて、戦争、原爆がどれだけ悲惨なのかを、肌で感じる事ができました。平和公園には、たくさん千羽鶴が飾られていました。この鶴一羽一羽に平和の願いがこめられているように感じました。そして、「平和」とは、一人一人が願うことで、初めて成り立つものだ、と理解することができました。した。平和を想う心を大切にしていこうと思えます。

この二日間で、戦争のつらさや悲惨さを、この目で、この手で実感することができました。平和を想う心を忘れず、これからも願

続
け
て
い
き
た
い
で
す
。